

2024 年 3 月

タイワンツナソ種 (モロヘイヤ)

Jew's-mallow

(*Corchorus olitorius* L.)

タイワンツナソ種審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、アオイ科 (Malvaceae) ツナソ属 (*Corchorus* L.) のタイワンツナソ種 (*C. olitorius* L.) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 種子
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 1,000 粒
種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 40 個体 (2 区制以上に分割)
- iii) 栽培期間 2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期等 特に指示がない限り、開花盛期 (一次側枝の 80%以上が開花した時期) に行う。
葉に関する形質は一次側枝の中央部 1/3 に着生する典型的な成葉で行う。
果実に関する形質は十分に肥大した未熟果で行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、種子繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 胚軸のアントシアニン着色の有無 (形質 1)
- ii) 葉身の尾状突起のアントシアニン着色の有無 (形質 17)
- iii) たく葉のアントシアニン着色の有無 (形質 19)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質 : 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質 : 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QL G	胚軸のアントシアニン着色の有無	Hypocotyl: anthocyanin coloration	子葉完全展開時の胚軸のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	<i>C. olitorius</i> (茎アントシアニン着色無系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
2		PQ (+)	草姿	Plant: growth habit	草姿(側枝の伸長方向)	観察 VG	1 2 3 4 5	直立 やや直立 斜上 やや開張 開張	upright upright to semi-upright semi-upright semi-upright to spreading spreading	モロヘイヤ(草姿直立系統) モロヘイヤ(草丈高系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
3		QN	草丈	Plant: height	地際から最頂部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	モロヘイヤ(草丈中系統) モロヘイヤ(草丈高系統)	
4		QN	株幅	Plant: width	株の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	モロヘイヤ(草丈中系統)	
5		QN	第一花着生節位の高さ	Plant: height to the node of the first flower	地際から主茎の第一花着生節位までの高さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	モロヘイヤ(草丈中系統) <i>C. olitorius</i> (茎アントシアニン着色無系統)	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6		QN	側枝の粗密	Plant: density of branching	一次側枝と二次側枝を合わせた側枝の粗密	観察 VG	1 2 3 4 5	粗 やや粗 中 やや密 密	sparse sparse to medium medium medium to dense dense	モロヘイヤ(草姿直立系統) モロヘイヤ(草丈高系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
7		QN	茎の太さ	Stem: diameter	主茎中央部の太さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	モロヘイヤ(草丈中系統) モロヘイヤ(草姿直立系統)	
8		QN (+)	側枝の長さ	Lateral branch: length	最長一次側枝の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	モロヘイヤ(草丈中系統) <i>C. olerius</i> (茎アントシアニン着色無系統)	
9		QN	側枝の緑色の濃淡	Lateral branch: intensity of green color	アントシアニン着色部を除いた一次側枝中央部の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	モロヘイヤ(草丈中系統) モロヘイヤ(草丈高系統)、 モロヘイヤ(草姿直立系統)	

形質番号	UPOV No.	記号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査方法	階級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10		QN	側枝のアントシアニンの着色	Lateral branch: intensity of anthocyanin coloration	一次側枝のアントシアニンの着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	<i>C. olitorius</i> (茎アントシアニン着色無系統) モロヘイヤ(草姿直立系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
11		QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	最長一次側枝に着生する葉の葉身の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	モロヘイヤ(草丈中系統)	
12		QN	葉身の幅	Leaf blade: width	最長一次側枝に着生する葉の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	モロヘイヤ(草丈中系統)	
13		QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: length / width ratio	最長一次側枝に着生する葉の葉身の幅に対する葉身の長さの比	測定 比 MS	3 5 7	小 中 大	low medium high	モロヘイヤ(草丈中系統) <i>C. olitorius</i> (茎アントシアニン着色無系統)	
14		PQ (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: shape of base	葉身の基部の形	観察 VG	1 2 3	鋭形 鈍形 円形	acute obtuse rounded	モロヘイヤ(草丈中系統)	
15		PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG	1 2 3	尾状形 鋭尖形 鋭形	caudate acuminate acute	モロヘイヤ(草丈中系統)	

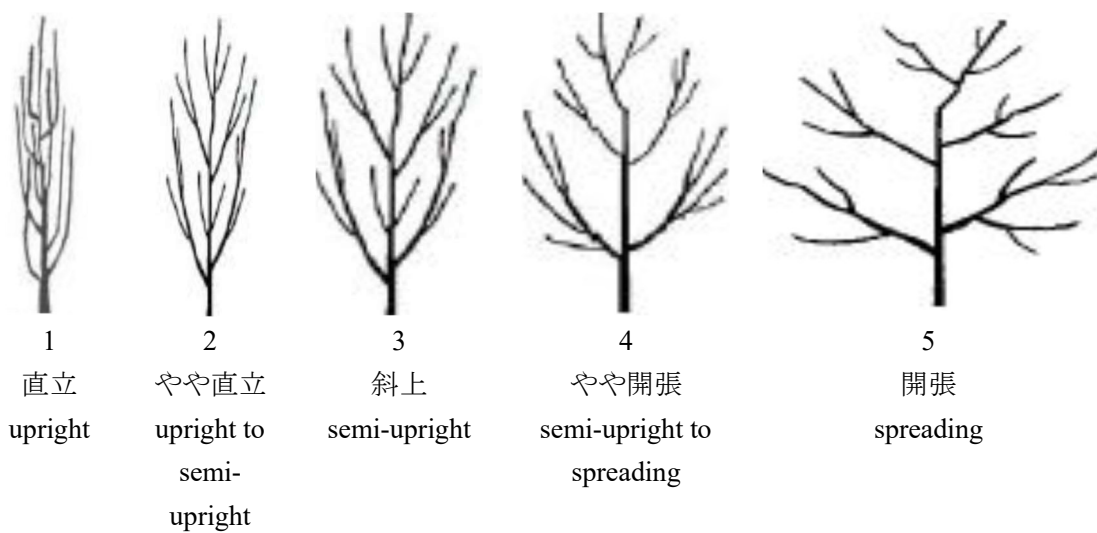
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	葉身表面の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	モロヘイヤ(草丈中系統)	
17		QL (+) G	葉身の尾状突起のアントシアニン着色の有無	Leaf blade: anthocyanin coloration of caudate protrusion	葉身基部の尾状突起のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	<i>C. olerius</i> (茎アントシアニン着色無系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
18		QN	葉柄の長さ	Petiole: length	最長一次側枝に着生する葉の葉柄の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	モロヘイヤ(草姿直立系統)	
19		QL (+) G	たく葉のアントシアニン着色の有無	Stipule: anthocyanin coloration	たく葉のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	<i>C. olerius</i> (茎アントシアニン着色無系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
20		QN	花の大きさ	Flower: size	花の直径	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	モロヘイヤ(草丈中系統) <i>C. olerius</i> (茎アントシアニン着色無系統)	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21		QN	花弁の長さ／幅	Petal: length / width ratio	花弁の幅に対する長さの比	測定 比 MS	1 2 3 4 5	小 やや小 中 やや大 大	low low to medium medium medium to high high	モロヘイヤ(草姿直立系統) モロヘイヤ(草丈中系統)	
22		QN	花弁の黄色の濃淡	Petal: intensity of yellow color	花弁表面の黄色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	モロヘイヤ(草丈中系統)	
23		QN (+)	果実の長さ	Fruit: length	果実の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	モロヘイヤ(草丈中系統) モロヘイヤ(草姿直立系統)	
24		QN	果実の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color	果実の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	モロヘイヤ(草丈中系統)	
25		QN	開花期	Time of flowering	供試個体の 50%以上で第一花が開花した日の早晚	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	モロヘイヤ(草丈中系統) <i>C. olerarius</i> (茎アントシアニン着色無系統)	

標準品種「モロヘイヤ(草丈中系統)」は、タキイ種苗(株)で、「モロヘイヤ(草丈高系統)」は、日本農産種苗(株)で、「モロヘイヤ(草姿直立系統)」は、(株)ウタネで、それぞれ取り扱いの品種。「*C. olerarius* (茎アントシアニン着色無系統)」は、農業生物資源ジェンバンクが配布している「*Corchorus olerarius* L.」(JP 番号 36390)である。

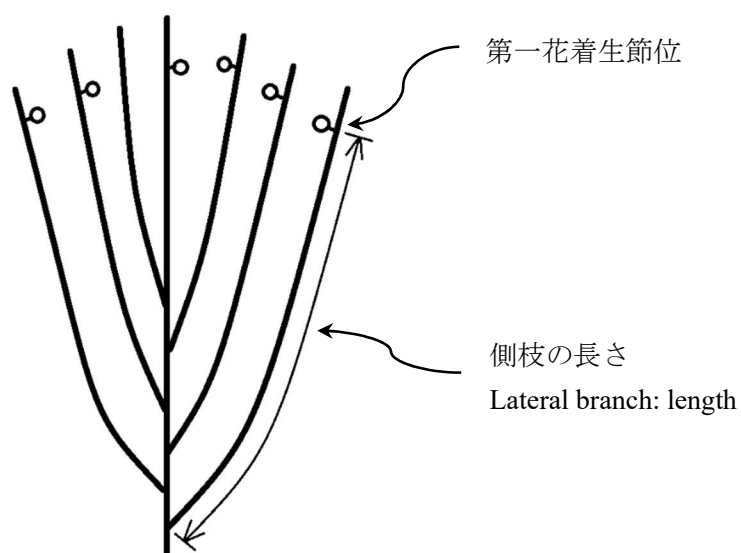
VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 草姿 Char.2 Plant: growth habit



形質 8 側枝の長さ Char.8 Lateral branch: length

最長一次側枝の基部から第一花着生節位までの長さを測定する。

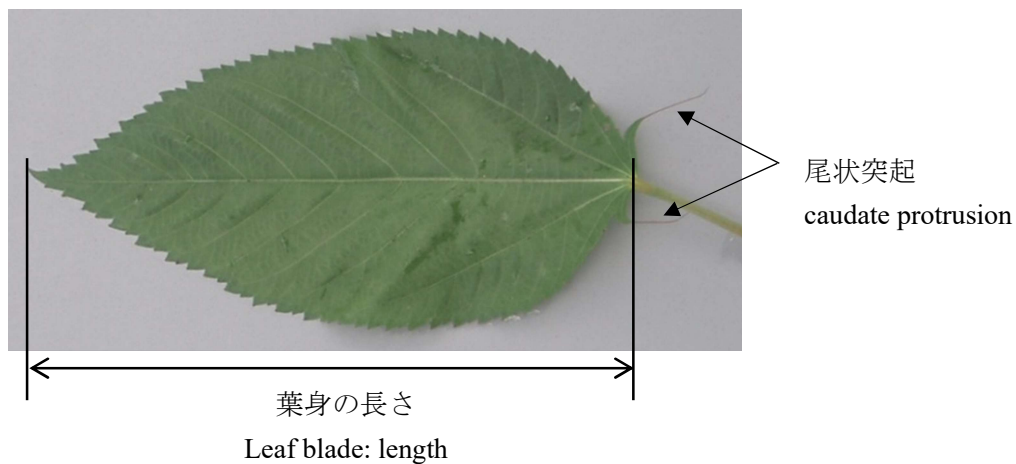


形質11 葉身の長さ Char.11 Leaf blade: length

形質17 葉身の尾状突起のアントシアニン着色の有無

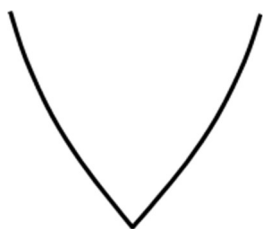
Char.17 Leaf blade: anthocyanin coloration of caudate protrusion

葉身の長さは、尾状突起を含めずに測定する。

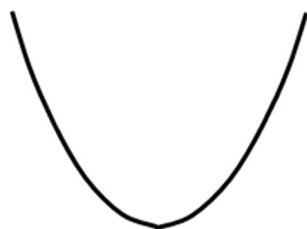


形質 14 葉身の基部の形

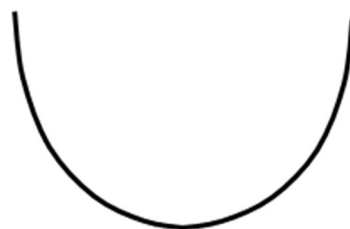
Char.14 Leaf blade: shape of base



1
鋭形
acute



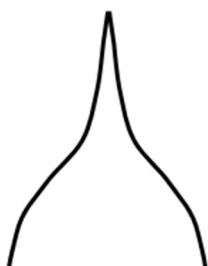
2
鈍形
obtuse



3
円形
rounded

形質 15 葉身の先端部の形

Char.15 Leaf blade: shape of apex



1
尾状形
caudate



2
鋭尖形
acuminate



3
鋭形
acute

形質 19 たく葉のアントシアニン着色の有無

Char.19 Stipule: anthocyanin coloration



たく葉
stipule

形質 23 果実の長さ

Char.23 Fruit: length



果実の長さ
Fruit: length